

キャピタル世界株式ファンド (DC年金用)

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

主な投資対象：「キャピタル世界株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。

※同マザーファンドを通じて、ルクセンブルク籍円建外国投資信託証券「キャピタル・グループ・ニューパースペクティブ・ファンド(LUX)(クラスC)」(以下「ニューパースペクティブ・ファンド」ということがあります。)および追加型証券投資信託「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」に投資を行います(ファンド・オブ・ファンズ方式)。なお、実質的な投資割合は、世界各国の株式等を主要投資対象とするニューパースペクティブ・ファンドを高位に維持することを基本とします。

ベンチマーク：設定しておりません。

目標とする運用成果：信託財産の中長期的な成長を目指します。

◆基準価額、純資産総額

基準価額：12,372 円

純資産総額：3.4 億円

◆基準価額の推移グラフ



◆資産構成 (%)

資産構成	(%)
キャピタル世界株式マザーファンド	100.0
ニューパースペクティブ・ファンド	100.0
日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)	0.1
現金等	0.0
現金・未払い費用等	-0.0
合計	100

◆為替ヘッジ

為替ヘッジ比率：為替ヘッジなし

◆ファンド(分配金再投資)の収益率とリスク(標準偏差)

	1カ月間	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来 (%)
ファンド収益率(分配金再投資)	-0.62	2.31	9.84	24.76	-	-	-	16.53
ファンドリスク(分配金再投資)	----	----	----	6.48	-	-	-	11.82

※ 資産構成は、当ファンドの純資産総額比になります。

※ 基準価額(分配金再投資)は、税引前分配金を再投資したものと算出しています。

※ 基準価額(分配金再投資)は、設定日を10,000として指数化しています。基準価額は、信託報酬控除後の値です。

※ ファンド収益率は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものにご留意ください。また同収益率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※ ファンド収益率・リスクともに、月次収益率より算出しています。なお、設定日が属する月の月次収益率は含んでおりません。(設定来は設定月末を起点として算出)

※ ファンド収益率は、期間が1年以上の場合は年率、同1年未満の場合は非年率となります。ファンドリスクは、期間が1年未満の場合は記載しておりません。

<キャピタル・グループ・ニューパースペクティブ・ファンドの主要な資産の状況等>

◆国別構成比率

国名	投資比率(%)
米国	47.9
フランス	6.3
日本	6.1
英国	5.1
オランダ	3.5
その他国	24.2
現金・その他	6.9
合計	100

◆業種別構成比率

業種名	投資比率(%)
情報技術	24.4
一般消費財・サービス	17.5
金融	11.0
生活必需品	10.1
ヘルスケア	9.8
その他業種	20.2
現金・その他	6.9
合計	100

◆組入上位10銘柄

銘柄名	国名	投資比率(%)
1 AMAZON	米国	3.3
2 TSMC	台湾	2.4
3 FACEBOOK	米国	2.3
4 ASML	オランダ	2.0
5 NASPERS	南アフリカ	1.9
6 ALPHABET	米国	1.9
7 MICROSOFT	米国	1.8
8 BROADCOM	米国	1.5
9 REGENERON PHARMACEUTICALS	米国	1.5
10 JPMORGAN CHASE	米国	1.4

< 組入銘柄数： 247 >

※ 各投資比率は、キャピタル・グループ・ニューパースペクティブ・ファンドの純資産総額比になります。

※ 業種については、MSCI分類に基づいていますが、当社の判断に基づき分類したものが含まれる場合があります。

※ 組入銘柄については、同一企業が発行し、複数市場において取引されている株式および株式に類する有価証券(預託証券等)の組み入れがある場合には、それらを合算して算出した投資比率を表示しております。

※ 組入銘柄数は、組み入れ開始後間もない銘柄を含まない場合があります。

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■「キャピタル世界株式ファンド(DC年金用)」の受益権の募集については、キャピタル・インターナショナル株式会社は、金融商品取引法(昭和23年法第25号)第5条の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式等の値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。■当資料は、キャピタル・インターナショナル株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

